

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公表番号】特表2012-512769(P2012-512769A)

【公表日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2011-542132(P2011-542132)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/16 (2006.01)

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年12月1日(2014.12.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

図 4 は、図 3 に示した実施形態の頂面概略図であって、インクインレット 2 2 0、電気回路 2 3 0 及び電極 2 4 0 を含む細部が追加的に示されている。まず、インレット 2 2 0 は特許文献 2 に詳示のデュアルフィード型であり、プリントヘッドモジュール 2 1 0 の背面からそのインレット 2 2 0 に隣接する一群の液滴吐出器 2 1 2 へとインクを供給できるように構成されている。図示例ではインレット 2 2 0 が複数のセグメントに分割されており、そのセグメントが各アレイ 2 1 1 の両側に千鳥配置されている。こうしたセグメントは、例えば、米国特許出願第 1 2 / 2 4 1 7 4 7 号（出願日：2 0 0 8 年 9 月 3 0 日，発明者：Lebens et al.）の記載に倣いスロット 2 2 1 として形成することができる。次に、回路 2 3 0 内には、電気パルス源 1 6 からの電気パルス供給に応じ液滴吐出器 2 1 2 を作動させる駆動用トランジスタが設けられている。その駆動用トランジスタは、スロット 2 2 1 間アレイ 2 1 1 の左右いずれかから延びるリードで、対応する液滴吐出器 2 1 2 に接続されている。回路 2 3 0 内には、更に、コントローラ 1 4 及び画像処理部 1 5 から供給される画像データに従い駆動用トランジスタを制御し、適切な吐出器 2 1 2 を適切なタイミングで作動させる論理回路が設けられている。そして、モジュール 2 1 0 への電気信号供給に使用される電極 2 4 0 は、モジュール 2 1 0 の非突合辺 2 0 9 のうち一方又は双方に沿うよう、方向 2 0 6 沿いに配列されている。電極 2 4 0 は、ワイヤボンディング又はテープ自動化ボンディングによって、支持基板 2 0 5 上にある回路基板等（図 2 では省略）に接続されている。このように、回路 2 3 0 内に駆動回路及び論理回路を設けた構成では、数百個に上る吐出器 2 1 1 を比較的少数の電極（2 0 個オーダ）で作動させることができる。更に、その回路 2 3 0 は吐出器 2 1 2 で形成されるアレイ 2 1 1 それぞれの両側にある。突合辺 2 1 4 の最寄りにあるアレイ 2 1 1 も例外ではなく、突合辺 2 1 4 の最寄りにありその突合辺 2 1 4 に対し略平行なアレイ 2 1 1 と、その突合辺 2 1 4 との間にも、モジュール 2 1 0 を構成する回路 2 3 0 の一部分が存している。